

「わたし・・・わたしたち変わります。」

管理牧師 司祭 ステパノ 卓 志雄

弟子たちはイエスが苦難を受け十字架の上で死なれた時、ローマ帝国とユダヤ人が怖くて逃げてしまった。そして部屋の中に隠れてすべてのドアを閉め悲しんでいた。イエスの弟子たちさえも復活がどのような出来事であったかを理解することができなかった。しかし復活のイエスに出会い、自分自身の生き方が変えられた驚くべき体験をした。

悲しみ、恐れ、絶望など立てなくしている力が取り除かれ、立つ力が与えられた。命をかけて福音を宣べ伝える勇敢な人へと変わった。復活されたイエスに再会した弟子たちは皆立ち上がらせて自分たちの新しい立ち姿を経験した。復活というのは、イエスに従っていた人々の営みが根本的に変えられる出来事であった。

聖書が語っている「復活」は、死んだ者が生き返るという意味よりは、むしろ再び立ち上がる、立ち上がらせられるという意味がより正確であろう。復活という出来事はイエスご自身が神によって立たされた、神がみ子イエス・キリストを再び立ち上がらせてくださったことを意味している。

復活したイエスの「立ち姿」は、打ちひしがれて座り込まざるを得なかった現実がひっくり返される姿である。イエス・キリストの復活は、神によって「新しい姿」で立ち上がられた出来事である。復活のイエスは、打ちひしがれて座り込んでいるわたしたちを立ち上がらせてくださり、わたしたちのあらゆる悲しみ、絶望を喜びと希望へと変えてくださる。

わたしたちも主によって変えられたい。2018年4月1日、池袋聖公会・東京聖マルチン教会・練馬聖ガブリエル教会、この3教会が集まって主イエス・キリストのご復活の喜びを共に祝いした。2015年から議論が始まった。2016年聖霊降臨日からは3教会合同礼拝がスタート。そして今年の2月に行われた3教会それぞれの堅信受領者総会でわたしたちは「新しい教会設立を推進するための検討委員会（以下、新教会検討委員会）」設置承認の件を決議した。

わたしたちの決議は事務的な決定だけではない。わたしたちキリスト者の生き方の変化を意味している。実は3教会の合同礼拝および行事について議論する際、ネガティブな考え、後ろ向き、すなわち「仕方ないから」という考え方があったのは否定できない。

しかし現状は「今まで」を乗り越えることが求められている。新しい教会共同体設立を推進していくことは「共に集まり、共に心と手を合わせ」祈りをささげながら、主がわたしたちの間におられることを感じながら信仰の原点を確認する作業である。すなわち「安定的な礼拝を行い、祈りをささげること」そして「地域の人々（となり人）に仕えること」を通してわたしたちの間におられる主の恵みを分かち合うことを目指す営みである。

わたしたちは先覚者である。先覚者とは、人々より先に物事の道理や時代の流れの変化を見抜き、

事を行った人を意味する。先覚者の歩みに失敗はない。もし夢を成し遂げることができなかった場合は、他の人々がわたしたちの失敗の教訓をいかすことによって、失敗する確率を少しでも低くすることができるから成功である。もし夢を成し遂げた場合は他の人々がわたしたちの歩んできた道に従ってくるから成功かである。

3 教会が共に集まり、み言葉と聖餐によって養われたい。そしてわたしたちが弟子たちのように主によって変えられ、「新しい立ち姿」で立たせられて、復活の生き方を歩んで行くことができるようにと祈りたい。

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。(フィリピの信徒への手紙4:13)」

完

練馬聖ガブリエル教会 会報「しゅろの葉」通巻176号より



2018年4月1日 3教会（池袋聖公会、東京聖マルチン教会、練馬聖ガブリエル教会）合同 復活日 聖餐式